

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年2月13日発行

令和5年度 第22号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その16>

どんちゃんLC会から更別小学校へプレゼント

1月30日、学校応援団であるどんちゃんLC会の神成会長と山角副会長が更別小学校に来校。

子どもたちの学校生活を応援するため図書室に置く



【神成会長、山角副会長と子どもたち】
贈られた53冊の児童図書と共に

児童図書を贈呈してくださいました。児童会役員が代表して感謝を伝え、本を受け取りました。☆どんちゃんLC会は小中学校の3校を対象に、1年に1校ずつご支援くださっています。

みんな集まれ!どんぐり塾

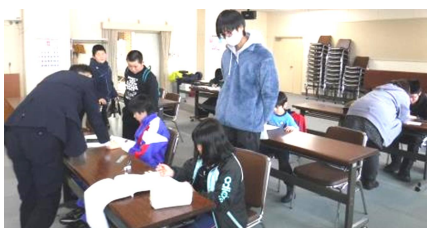
村の教育支援員・地域の方・教育委員会職員が講師

小中学校が冬期休業に入った12月25日、26日、27日の3日間、お子さんたちの学習のサポートのために「どんぐり塾」を開催。



3日間に集まったのは小学1年生から中学1年生。多い日で9人集まりました。講師には元教員だった地域の方や支援員・教育委員会職員もいました。「分からないこと」をそのままにしておくのが一番よくありません。次回

回はもっと多くのお子さんたちに「どんぐり塾」に来てほしいと思っています。



集中して学習に取り組む

どんぐり村子ども会議開催

1月25日に、村内小中学校三校の児童会・生徒会役員が中学校に集まり、「どんぐり村子ども会議」を開催しました。

各校で中学生が考えた項目についてアンケートをとり、その結果の課題とその課題解決について話し合ってきたことを交流しました。

(1)「ネット、スマホ、ゲームとの付き合い方ルール宣言」その後について
【全体まとめ】

- ・ルール宣言を改めて全員に周知し、まずは認知度を上げていくことが大事。
- ・「ルール宣言」を認識させるために集会や放送、ポスター、あいさつ活動などで呼びかける。複数回行うことで効果が期待できる。ルール宣言の掲示物の場所を呼びかける等。

☆三校ともネット・スマホ・ゲームの使用時間が長すぎる児童・生徒がいる。

2月18日「教育を考える村民集会」で代表の中学生から発表します。



【村内小中学校から10名の代表が集まる】



(2) いじめ根絶に向けた取組

- ①どさんこ☆子ども地区会議の報告。
- ②【全体まとめ】

- ・いじめがあったときには、早い段階で大人に相談する。または声を掛けあたりして自己解決をしていく。
- ・互いに認め合う活動は、現在各学校で行っているHappy days、個性の木、してもらってうれしかったことを掲示、お手紙大作戦などを継続して、お互いの良いところを認めていく。
- ・いじめをなくそう宣言の認識を高める。